

令和6年度 道徳 学習の手引き

1 道徳で身に付けたい力

よりよく生きるための 基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自分を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

2 学校での学習の進め方の例

- 授業の約束【時間を守る・始めと終わりのあいさつをしっかりとる・忘れ物をしない・話をよく聞く・積極的に課題に取り組む】を守り、集中して授業に取り組みましょう。
- 自分の意見を積極的に発表しましょう。また、なぜそのような考えになったのかという理由をしっかりと考えましょう。
- クラスみんなの意見をよく聞きましょう。自分の考えと同じ部分と違う部分を考えながら意見を比べましょう。
- 授業を振り返って、自分の評価をしましょう。授業を通して気づいたことや、自分の考えで変化したことなどを書きましょう。

3 ノート・ワークシートのまとめ方の例

○ワークシートやポートフォリオ（配布ノート）に自分の考えやクラスの仲間の考えを書きましょう。

4 道徳の授業の評価の仕方の例

- 評価は記述で行います。3学期の通知表に通年の評価を載せます。
- 評価の記述例は以下の通りです。
 - ・授業で扱う内容を常に自分のことと捉え、人としてよりよく生きるために、どのような心を持つべきかについて話し合う姿が見られました。
 - ・〇〇を活用した授業では、ごまかしをする主人公に共感しながらも、友達と考えを交流し、誠実に生きる意味について考え、発言しました。
 - ・真剣に自分の生き方を見つめ、人としてよりよく生きていこうという思いを道徳ノートに記述していました。